

DIGITABLE 第 108 回勉強会レポート

2017 年 9 月 15 日 於：森下文化センター 第一研修室



小型ストロボによる人物撮影

Photoshop 研究講座「写真集を作ろう」：平野正志講師

希望者による「ライトニングトーク」

撮影技術講座③：「ストロボによる人物撮影一まとめ」：高木大輔講師

DIGITABLE 写真技術研究会 (HOME) <http://www.digitable.info>

撮影技術講座③ストロボによる人物撮影一まとめ 高木大輔講師

■ストロボ 1 灯ライティング

初回はスタジオの白バック、前は窓やさまざまな背景のハウススタジオだったが、今回は全てモデルは通常の壁から 50cm 程度はなれた状態で、配光状況によっては壁に影が出来たり、壁の明るさが異なっているのが分かるだろう…

■ストロボ 2 灯ライティング

同型のストロボをもう 1 灯増やす。
ストロボ 1 灯に比べると作画の意図がはっきりして「ライティングをした」感じの写真になった。…

■ストロボ 3 灯ライティング

さらにもう 1 灯増やして、3 灯ライティング。機材の問題もあるが、一人で操作するにはこのあたりが操作の限界だろう。実際のプロの仕事でも、これ以上多灯を使うというケースはそう多くない。
増やした 3 灯目の役割はここではバックの演出。
写真は前頁とモデルさん自体の描写はほぼ一緒の筈だが、バックから切はなれて、奥行きを感じる写真になったのが分かるだろう。
さらに背景を積極的に照射して、写真自体の「方向性」を狙っている…

■ストロボの同調器具：補足（トランスミッターと赤外線パネル）

内蔵フラッシュ用赤外線パネル SG-3IR (Nikon)
IR = infrared = 赤外線の意味で、内蔵フラッシュをコマンダーとして使用の場合、内蔵フラッシュの微量発光の影響をなくすためのものがこの装置。（通常ストロボのワイヤレスでのフラッシュの制御は赤外線）

装着状態でフラッシュ発光させると右図のようになる。フラッシュの光の中の可視光線は遮断して赤外線だけを透過させているからこういう風に見えるようになる訳で、肉眼でこのように赤く見える…

DIGITABLE 写真技術勉強会 不許複製 (C) Digitable.info. 20170915 All Rights Reserved



二灯ライティング③ カメラ側：天井バウンス
+ 左後方 15 度からディフューザー照射

